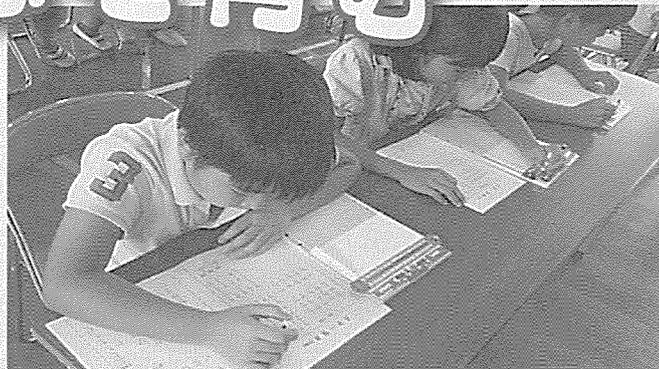


## 福祉の心を育む



車イスバスケット



点字体験

大分市社会福祉協議会ボランティアセンターでは、市内の小中学校を対象に福祉学習講座を実施しています。昨年度は市内の小中学校35校で実施しました。2002年の「総合的な学習の時間」の創設により、多くの学校で福祉教育が取り組まれるようになりました。講師の手配など、より円滑な実践ができるように本協議会では福祉教育の充実に向けた支援を行っています。

福祉教育の目標は、「思いやる心」や「助け合う心」を育むことです。そのためには、子どもたちが福祉とは何かを理解し、福祉教育に取り組む実践的態度を身に付けていく必要があります。実施校では、「福祉学習の手引き」（市社協発行）の福祉学習「プログラムの紹介」（右図参照）の中から、各学校の教育計画に応じ実施されています。

福祉教育の目標にどれだけ近づけることができるかは、体験の「振り返り」をしっかりと行うことが必要だと考えています。市内の小中学校には福祉学習の教材（CD版）として「福祉のこころ」（市社協発行）を配布し、福祉学習の充実に向けた取組を行っています。

### 福祉学習プログラムの紹介

- 1 車いす利用者を理解しよう  
「車いす体験」
- 2 視覚障がい者を理解しよう  
「盲導犬について」  
「アイマスク体験」  
「点字体験」
- 3 聴覚障がい者を理解しよう  
「手話体験」
- 4 障がい者スポーツを体験しよう  
「車いすバスケット」  
「卓球バレー」等
- 5 ボランティアってなに
- 6 お年寄りを理解しよう  
「高齢者疑似体験」



### 大分市社会福祉大会で市長・会長表彰受賞



第47回大分市社会福祉大会が、平成28年11月8日にホルトホール大分にて盛大に開催されました。ボランティアの皆様の多数のご参加、誠にありがとうございました。

また、優良社会福祉団体として、ハート&ハーモニーの会、「高田の子ども見守り」ボランティア、ボランティア西の洲の3団体が市長・会長表彰を受賞されました。おめでとうございます。

# 夏のボランティア体験月間のまとめ

平成28年7月21日から8月31日の間「2016夏のボランティア体験月間」を開催し、578名の参加者が貴重な体験をしました。

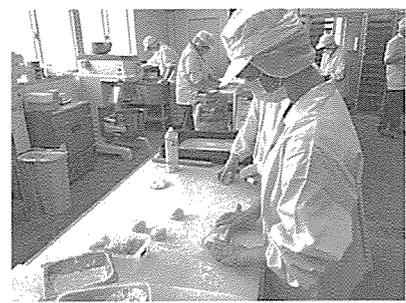
この体験月間は、大分県社会福祉協議会が主催し、県内の学生及び社会人に夏休みを利用してボランティア活動を体験する機会を提供し、自分たちが住む地域社会の現状や課題を理解していただくとともに、ボランティア活動への積極的な参加を促進することを目的に開催しています。

この体験の機会を設けてくださいました87の施設等の方々、受け入れて頂いたことに厚くお礼申し上げます。

## 施設種別参加人数

(単位：名)

	高齢者福祉施設等	老人保健施設等	障がい者施設等	児童福祉施設等	その他(児童育成クラブ等)	合計
男	21	8	8	27	35	99
女	67	22	59	242	89	479
高校生	65	24	53	260	114	516
大学・短大・専門学生	23	6	13	9	10	61
社会人	0	0	0	0	0	0
その他(中学生含む)	0	0	1	0	0	1
合計	88	30	67	269	124	578



## 参加者の声から・・・一部を紹介します。

### 応募の動機

- 学校で募集がでていた。(先生に勧められて)
- 進路に迷いがあったため多くの活動をしたかった。
- 高齢者を取り巻く環境を知りたかった。
- 自分の成長になればと思った。
- 以前からボランティア活動に興味があったから。
- 将来、教師になりたいので色々なことに挑戦すべきだと思った。
- 人の役に立つことをしたかったから。

### 活動後の感想

- 仕事をする人たちの大変さや思いやりなど、とてもいい経験になった。
- 経験のない私にあわせて丁寧な指導をしてくれた。
- 先生方は子どもと話すとき膝をついていた、わたしもこれからはそうしたいと思った。
- 最初は不安だったが「先生大好き」と園児がいてくれたのでボランティアをして良かったと心から思った。

今年の夏も全県下で1,327人、大分市で578人も多くの方がボランティア体験活動に参加していただきました。施設利用者さん方や職員の皆さんとのふれあいの中で体験が、これからの様々なボランティア活動に繋がっています。

ボランティアセンターでは、この体験活動が夏休みだけでなく、年間を通していつでも体験できるようにしています。皆様のご参加をお待ちしています。

# ボランティアグループの活動紹介

## 芸能ボランティア桜の会

私達桜の会は、高齢者施設への芸能ボランティア活動を行おうと、平成25年2月に発足しました。早いもので、今年で3年目になりました。会員数は現在、15名です。

まず、訪問する施設探しから苦労しましたが、最近では以前訪問した施設から再度依頼が来るようになり一安心。初めは歌と踊りが主でしたが、もっと喜んで貰うにはどうしたらいいかと考えて、ひよっとこ踊りや安来節を加えたり、花笠音頭、ドンパン節等、華やかな踊りも取り入れました。マンネリにならない様に、南京玉すだれやマジックも練習しました。その結果、皆さんの笑顔が増えたように感じます。まだ、上手くできないのですが、腹話術も挑戦中です。お人形さんが出て行くと、「かわいい」という声が聞こえて笑顔が増えます。技術的にはまだまだですが、会員全員、これからもアイデアを出し合って精進し、さらに笑顔を追及して行きます。



代表者 高野 こそ江

## わくわく実験室ふあみらぼ

私たち<ふあみらぼ>は、主婦2人で2年前に立ち上げました。幼児から小学生低学年を対象とした「科学あそび教室」を開催しています。幼稚園や公民館、イベント会場などで簡単な実験や工作を通して、身近にある【ドキドキ・わくわく・ふしぎだな・やってみたい】の好奇心をふくらませていきます。テーマや材料は、家の中や生活に身近なものが中心。ダンボール空気砲や磁石電車、カラフルホットケーキや砂糖・塩実験など、親子で楽しみながら科学に触れてほしいと思っています。また、夏休みには小学1~3年生を対象とした宿泊型のサイエンススクールとして、専門講師を招き、海・山・空・星などの自然観察や工作を行いました。



幼児期だからこそその素直な「なぜ? どうして?」を大切に、「すごい!」「おもしろい!」「もっとやりたい!」「しりたい!」という言葉に答えていけるようにこれからもがんばります!

代表者氏名 廣瀬 菜美子

# 皆さんの善意が福祉活動に役立っています

## 使用済切手、書き損じハガキなどを大分県盲人協会へ

大分市ボランティアセンターでは、多くの団体や個人の方々から寄せられた使用済の切手やカード、書き損じハガキなどを、ボランティアの方々によって整理していただいた後、視覚障がい者の福祉活動に役立てるため、社会福祉法人大分県盲人協会「愛のともじり運動」へ段ボール4箱分をお届けしました。

この活動は、多くのご協力によって成り立っています。これからも多くの皆様の収集ボランティア活動へのご協力をよろしくお願いいたします。



### 平成27年度協力いただいた皆様

- 収集ボランティア  
大分南警察署、武内造花店、豊明クラブ、ボランティア西の洲、由布市挟間小学校PTA、金池小学校ベルマーク部、大分県厚生連鶴見病院、中島小学校PTA、大分市歯科医師会、他個人・団体の皆さん
- 使用済切手整理・分類ボランティア  
本郷まり子様、定行真由美様、うさぎの会、ボランティア21、その他の皆さん



## 平成28年度朗読ボランティア養成講座開講

第22回平成28年度朗読ボランティア養成講座が、ホルトホール大分4階のボランティアルームにおいて開講しました。

ボランティアセンター所長から、講座の目的である「朗読を基礎から学ぶ」「ボランティア活動に活かす技術を磨く」「聞き手から喜ばれるボランティアを養成する」の話、講師の飯塚政利先生のユーモア溢れた挨拶の後、1回目の講座が始まりました。

初日は、自己紹介から始まり、声の出し方（呼吸法）の練習等を行いました。この講座は10回開かれ、終了すると朗読ボランティアのグループを結成して活動することになっています。これまで、352名の方々が終了され、毎年グループをつくり、読み聞かせ、対面朗読等のボランティア活動を高齢者施設、病院、保育園、子どもルーム等で行っています。



## ボランティアだより (発行元・お問い合わせ)

社会福祉法人 大分市社会福祉協議会 地域福祉課 大分市ボランティアセンター

〒870-0839 大分市金池南1丁目5番1号 ホルトホール大分4階

TEL : (097)547-7419 FAX:(097)547-9559 E-mail : volun@oita-syakyo.jp

開所日時 : 月～土曜日 9時～18時 【ただし、第2・4月曜日(祝日の場合は翌日以降の平日)及び祝祭日、12月28日～1月3日は除く】